

「デジタル広告ワーキンググループ」開催要綱（案）

1 目的

本ワーキンググループ（以下「WG」という。）は、「デジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会」（以下「検討会」という。）の下に開催されるWGとして、デジタル広告の流通を巡る諸課題への対処の在り方等に関する検討を専門的な見地から行うことを目的とする。

2 名称

本WGは、「デジタル広告ワーキンググループ」と称する。

3 検討事項

- （1）質の高いデジタル広告の流通に向けた諸課題への対処の在り方
- （2）質の高いオンラインメディアへの広告配信に向けた諸課題への対処の在り方
- （3）その他のデジタル広告の流通を巡る諸課題への対処の在り方に関する事項

4 構成及び運営

- （1）本WGの主査は、検討会の座長が指名する。
- （2）本WGの構成員は、別紙のとおりとする。
- （3）主査は、本WGを招集し、運営する。
- （4）主査は、必要があると認めるときは、主査代理を指名することができる。
- （5）主査代理は、主査を補佐し、主査不在のときは、主査に代わって本WGを招集し、運営する。
- （6）主査は、必要に応じ、本WGの構成員又はオブザーバーを追加することができる。
- （7）主査は、必要に応じ、本WGの構成員以外の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- （8）その他、本WGの運営に必要な事項は、主査が定めるところによる。

5 議事・資料等の扱い

- （1）本WGは、会議又は議事録を原則として公開とする。ただし、公開することにより、当事者又は第三者の利益及び公共の利益を害するおそれがある場合又は主査が必要と認める場合については、非公開とする。
- （2）本WGで使用した資料は、原則として、総務省のウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、公開することにより、当事者若しくは第三者の利益を害するおそれがある場合又は主査が必要と認める場合については、非公開とする。
- （3）本WGの会議については、原則として議事概要を作成し、総務省のウェブサイトに掲載し、公開する。

6 その他

本WGの庶務は、総務省情報流通行政局情報流通振興課が行う。

デジタル広告ワーキンググループ 構成員名簿

(敬称略、五十音順)

【構成員】

主査	音 好宏	上智大学文学部新聞学科 教授
	柿沼 由佳	公益社団法人全国消費生活相談員協会 消費者教育研究所 副所長
	クロサカ タツヤ	慶應義塾大学 X Dignity センター 副代表
	澁谷 遊野	東京大学大学院情報学環 准教授
	曾我部 真裕	京都大学大学院法学研究科 教授
	水谷 瑛嗣郎	慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 准教授